トピック(テーマ)			善光寺地震
ねらい			弘化４年（1847）3月24日（太陽暦5月8日）夜10時ごろ、善光寺町から虫倉山周辺を震源地としたマグニチュード7.4と推定される善光寺大地震が発生した。その範囲は惨害の最も甚だしかった松代領内は勿論、南は松本藩領から北は越中富山藩領に及び、岩倉山崩壊と共に堰き止められた犀川が19日後の翌月11日（5月24日）に決壊し川中島4郡に氾濫した。この大震災を知り、伝え、震災への備えの参考にする。
キーワード			善光寺　弘化四年　虫倉山　虚空蔵山　松代藩　むしくら日記　河原綱徳　地震後世俗語之種　永井善左衛門幸一　権堂村　川津波　山抜け
概要を知るためのツール	1	書名	長野市誌　［第一巻・第四巻・第八巻］
		著者名	長野市誌編さん委員会／編
		出版社	長野市
		出版年	1997―2004
		内容紹介	第一巻　自然編　第２章「善光寺地震」 第四巻　歴史編　近世二　第九章「善光寺地震の記録」 第八巻　旧市町村史編　旧上水内郡　旧上高井郡　第四章「弘化四年の善光寺地震」
	2	書名	善光寺大地震を生き抜く
		著者名	中条唯七郎
		出版社	日本経済評論社
		出版年	2011.12
		内容紹介	弘化４年３月、善光寺平を巨大な地震が襲った。山は崩れ、堰止め湖は決壊し、大火も起き、村は一瞬にして地獄図と化した…。地震の終息まで7年を要したなかで、人々はどのように生き抜いたのか。現代文で届ける歴史資料
	3	書名	弘化震災記　むし倉日記
		著者名	河原綱徳／稿
		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	1931.9
		内容紹介	弘化4年（1847）3月24日に発生した善光寺地震と虚空蔵山の崩壊よって犀川が堰き止められ19日後に決壊して起きた川津波災害について、松代藩月番家老河原綱徳がその手記を整理しておいた4巻（元・亨利・貞）の自筆稿本。被害状況の詳細と顛末、責任ある衝に当たって応急に尽瘁した始終の記述で、情報収集の豊富さ、取材の正確さにおいて他に比類がない。叙述も客観的で生々しく、震災記録として稀有の研究資料で、読み物としても高い評価を得ている。
	4	書名	善光寺大地震図会：弘化四年　地震後世俗語之種
		著者名	永井善左衛門／絵
		出版社	銀河書房
		出版年	1985.12
		内容紹介	善光寺地震の記録。文章とともに、彩色された挿絵が多数あり貴重な記録となっている。著者の永井善左衛門幸一は権堂村の名主だったが、地震被害により権堂の家屋敷、貸家、出店等全て焼失し財産を失った。善左衛門は絵が描け、筆も立ったので、せめてもの慰めとして地震の被災記録を子孫に書き残した。原本は永井家文書として長野市指定文化財になっている。写本が真田宝物館、国立国会図書館にある『俗語之種』。また、信濃教育博物館に渡辺敏が写させた『驚天動地録』に所載されている。
資料リスト	1	書名	善光寺地震に学ぶ
		著者名	赤羽貞幸／編著
		出版社	信濃毎日新聞社

		出版年	2003年
		内容紹介	弘化4年（1847）に長野県北部を襲ったM7.4地震は再来するのか。地質・地震学と歴史学の協力で新たな史料を発掘し、現代の地震災害対策に活かせるヒントを示す。
	2	書名	善光寺地震
		著者名	松代藩文化施設管理事務所／編
		出版社	長野市教育委員会
		出版年	1998年
		内容紹介	松代藩の被害と対応について詳述する。
	3	書名	弘化四年善光寺大地震
		著者名	信濃毎日新聞社／編
		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	1977年
		内容紹介	永井善左衛門幸一の「地震後世俗語之種」の絵、末松露香の「善光寺の記録」が載っている。解題は小林計一郎
	4	書名	古記録による歴史的大地震の調査（第一報）：弘化4年3月24日善光寺地震
		著者名	佐山守／著
		出版社	東京大学地震研究所
		出版年	1973年
		内容紹介	弘化4年の善光寺地震の古記録による調査
	5	書名	地震後世俗語之種：善光寺大地震図会
		著者名	永井善左衛門／絵
		出版社	銀河書房
		出版年	1985年
		内容紹介	「地震後世俗語之種」の原本と翻刻、小林計一郎による解題が載っている。
	6	書名	善光寺地震と山崩れ
		著者名	斎藤豊／[ほ]か著
		出版社	長野県地質ボーリング業協会
		出版年	1994年
		内容紹介	
	7	書名	善光寺地震と虚空蔵山の崩壊：弘化四年そのとき涌池になにが起きた
		著者名	涌池史跡公園記録誌編集委員会／編
		出版社	長野市信更町涌池区
		出版年	2011年
		内容紹介	善光寺地震と虚空蔵山の崩壊について地元からの報告
雑誌	1	論題名	善光寺地震の災害情報ー読売・摺物を中心にー
		著者名	降幡浩樹
		雑誌名	市誌研究ながの
		出版年	2007年
		巻号頁数	第14号
	2	論題名	善光寺地震特集号
		著者名	
		雑誌名	長野
		出版年	1986年5月
		巻号頁数	127号
	3	論題名	善光寺地震と善光寺役所の対応の軌跡
		著者名	鬼頭康之
		雑誌名	信濃
		巻号頁数	3次60巻7号
	4	論題名	善光寺地震に関わる丸山多三也「地震記録」
		著者名	宮澤崇士
		雑誌名	信濃
		巻号頁数	3次70巻4号
インターネット情報	1	サイト名	信州地域史料アーカイブ

		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/
	2	サイト名	信州善光寺公式ホームページ
		URL	https://www.zenkoji.jp/page/2/
	3	サイト名	国立国会図書館サーチ
		URL	http://iss.ndl.go.jp/
	4	サイト名	国立国会図書館デジタルコレクション
		URL	http://dl.ndl.go.jp/
新聞	1	記事	善光寺地震
		発行機関	信濃毎日新聞社（データベース）
		年月日	2017.5.11
	2	記事	善光寺地震の木札
		発行機関	信濃毎日新聞社（データベース）
		年月日	2013.3.10
	3	記事	震災のあと　上・中・下
		発行機関	信濃毎日新聞社（データベース）
		年月日	2012.2.24　1.31　2.7
パンフレットその他	1	名称	地震による土砂災害の教訓を継承し、現代に活かす
		発行機関	地震 による土砂災害の教訓を継承し、現代に活かす」実行委員会
		年月日	2007年